

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 木曜3限	教室名	第4校舎401
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験とその関連資格	友愛会病院で言語聴覚士として勤務、成人(主に脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる。			
《授業科目における学習内容》						
神経系の構造や働き、病態を学び、麻痺や感覚障害の発現するメカニズムを理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病気が見えるvol7.脳・神経、色えんぴつ						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回の授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
この講義は今後の専門科目を学ぶ上で基礎となるものです。専門用語や記憶する名称も多く、学び始めは大変かもしれませんが、1つ1つ着実に身につけていきましょう。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経、抹消神経を分類できる。 大脳各部位の名称を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
		各コマにおける授業予定	神経系の成り立ち、大脳皮質の各部位・辺縁系の部位の名称			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	大脳皮質の機能局在を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称を覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
		各コマにおける授業予定	ブロードマンの皮質領野 運動野、体性感覚野、聴覚野、視覚野、前頭前野、辺縁系、言語領域+＜過去問チャレンジ＞			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞の名称を述べることができる。 神経伝達について説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称を覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
		各コマにおける授業予定	神経細胞、神経伝導、神経筋接合部(シナプス伝達)、神経伝達物質			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の構造を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
		各コマにおける授業予定	間脳、脳幹、小脳、脊髄			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳脊髄液の循環を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚えておく。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。	
		各コマにおける授業予定	髄膜の構造、脳室の構造、脳脊髄液とその循環 +＜くも膜下出血とは？＞			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の血管と支配領域を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳血管とその支配領域について、ウィリス動脈輪+＜脳動脈瘤破裂、脳梗塞、脳出血とは？＞		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の神経線維の名称と部位を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	投射線維、交連線維、連合線維		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	錐体路の経路を説明できる。 これまで理解した内容について整理し、質問に適切に答えることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前半に学んだ内容をよく復習しておく。
		各コマにおける授業予定	運動性下降行路 問題演習と解説		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	上位/下位運動ニューロン障害について、違いを説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	上位運動ニューロン障害、下位運動ニューロン障害それぞれの特徴と相違点+＜過去問チャレンジ＞		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経12対の働きを述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳神経12対、①嗅神経～⑤三叉神経		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経12対の働きを述べることができる	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳神経⑥顔面神経～⑫舌下神経		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経12対の障害の出現様式をイラストを書いて説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	脳神経の障害+＜過去問チャレンジ＞		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	錐体外路症状、小脳失調を説明することができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	錐体外路と障害時の症状(錐体外路症状)、小脳路と障害時の症状(運動失調)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚が伝わる経路を説明できる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	感覚障害、自律神経およびその障害+＜過去問チャレンジ＞		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像撮影方法の種類と特徴を述べることができる。	PC、プロジェクター教科書、配布資料 色えんぴつ	前回学んだ名称、働きを覚える。教科書で該当項目を調べ、部位を確認する。
		各コマにおける授業予定	形態画像解析、機能画像解析について		